

学校教育委員会報告



第6回 学校交流会を開催して

橋原 弘之*

Hiroyuki Narahara

河田 直樹**

Naoki Kawada

2023年9月2日(土)13時~17時にかけて、学校教育委員会行事として、6回目となる完全オンライン形式での学校交流会が、九州工業大学をホスト校として開催された。

参加者総数は、27名(内訳:教員等学校関係者8名、企業関係者7名、学生12名)であった。前回に比べれば増となっており、さらに内訳として学生の参加者が増えているので、以前の状況に戻りつつある。

今回の交流会は、審査表彰部会の協力により、夏の交流会の特徴として定着した学生賞受賞者(またはその指導教員)による研究発表と、卒業研究や大学院の研究について中間発表(研究計画としての報告を含む)を行った。また、一部の会員の声として、Zoomではなく、Teamsでの開催の要望があり、Teamsで開催することとした。

学生賞は3件あったが、そのうち2件は、受賞者本人はいずれも新入社員研修中ということもあって発表がかなわなかったが、それぞれの指導教員による発表が実現できた。聴講していた多くの学生の研究の参考と励みになったことと思う。残り1件は、残念ながら学生も指導教員も予定が合わず、次回に見送りとなった。

続いて中間発表を行った。これまでの夏の交流会と同様に中間発表は9月の初旬の時点ではまだ研究が本格的に進んでいないという状況も多く見られることから、研究計画として発表するテーマ3件と、大学院への進学や大学院の2年目に位置付けられている学生の中間報告2件として発表するテーマに分

けたプログラムとした。

今回発表された研究テーマは、ここ数年の傾向として樹脂成形関連のテーマが多かったが、発表者の多くが機械系の研究室に所属しているためか、全てのテーマが機械工学分野の研究となった。

今回の全体のプログラムは以下の通りである。

<交流会プログラム>

13:00~13:05

1. 開会の挨拶

学校教育委員会 委員長 九州工業大学 橋原弘之

13:05~13:55

2. 2022年度品質工学会学生賞受賞研究の記念発表
司会 埼玉工業大学 河田直樹

(13:05~13:15)

審査表彰部会長挨拶

審査表彰部会 部会長 田村希志臣

(13:15~13:35)

「デジタルものづくりに向けたMTシステムの適用事例」

埼玉工業大学 金城 寿 (代理発表者: 福島祥夫)

(指導教員 福島祥夫)

(13:35~13:55)

「動揺測定データリンク型列車防護用台車モニタリングシステムの研究」

埼玉工業大学 池田圭佑 (代理発表者: 河田直樹)

(指導教員 河田直樹)

13:55~15:40

3. 学生による卒業研究中間発表

司会 各指導教員 (リレー方式)

3-1 研究計画報告

(13:55~14:15)

* 九州工業大学

** 埼玉工業大学